

## お客様のビジネス加速を支えるために、新たな価値を創出する最適なクラウドを提供していく

新たなビジネスを展開するためにはクラウドの力が必要、といった言葉をよく聞く。しかし、流行り言葉のように使われるクラウドによって、企業は何を得られ、何を改革できるのだろうか。ITのトータルソリューションを提供する伊藤忠テクノソリューションズ株式会社（以下、CTC）も企業のクラウド導入を推進しているが、クラウドを選択する必要性とメリットについて、取締役 兼 常務執行役員の大久保忠崇氏に伺った。

### コストメリットだけではなく「新ビジネスの創出」こそがクラウドの目的

#### — CTCが提供するITサービスには、どのような特長がありますか。

CTCは、お客様の情報システム部門からは「ITインフラに強い」という評価をよく頂いています。しかし、お客様が求めているのはビジネスで利用する

アプリケーションの使いやすさや利便性であって、それを支えるインフラはあたり前のように提供されるもの、と我々は考えています。そのためには、インフラに強いだけでなく、インフラを活かしたミドルウェアから上のアプリケーションを構築して運用する技術が必要です。CTCは、アプリケーションやミドルウェア・OSから、サーバ・ストレージやネットワークまでを理解しているプロフェッショナルなエンジニアを揃えた総合力で、お客様のお使いになるアプリケーションを最も効率的かつ効果的に提供できることを強みとしています。

#### — 多様化し、加速化するビジネス環境の変化の中で、ITやクラウドが注目されていますが、実際にはどのような課題解決がITで行われているのでしょうか。

課題を解決するだけではITを活用しているとは言えません。ITによってこれまでのビジネスサイクルを大幅に変化させ、そのスピードに追従できる企業が生き残る時代となってきているのです。

企業的意思決定もトップダウンで決まるだけでなく、社員のコミュニティを通して、さまざまな意見やアイデアを吸収し、スピーディに商品化や改革を行うようになっています。

#### — 具体的には、どのようにITを活用しているのでしょうか。

たとえば、製造業のお客様は、会社全体でコミュニケーションやコラボレーションを行うための基盤をクラウドで構築しています。また、建設業のお客様は、さまざまな専門の技術者同士で情報交換を行い、業務推進を加速化させるためにプライベートクラウドを構築しました。流通業のお客様は、情報共有と配信をスピーディに行うシステムを構築しました。コストメリットを求めて既存のシステムをクラウドに移行させることも注目されていますが、クラウドによって新たな価値を生み出しているお客様が多いことを見逃してはなりません。効率化や省力化は重要ですが、現在のITは、新たなビジネスを生み出すために活用されるものだと思っています。

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社  
取締役 兼 常務執行役員  
ITサービス事業グループ  
担当役員 兼 CTO

大久保 忠崇氏

クラウドの利用自体が目的ではなく  
ビジネスを加速させるために利用する

#### — そこでクラウドが注目されているというわけですね。

クラウドは手段であり、ビジネスを加速させる大きな要素として使われるもの、と考えてください。コミュニケーションツールや意思決定のためのツールが進化していくことで、新しいビジネスモデルを進めていくことができます。これらのツールを、利用規模の変化に合わせた適切なコストで利用できるクラウド環境で使うことによって、ビジネスは加速します。

新たなビジネスの潮流が生まれたときに、大きな投資を行える企業であれば、それに対応したシステムの導入を行えるでしょう。しかし、多くの企業では、技術が進化して初期投資リスクが小さくなるまで、新たなシステム導入などに踏み切ることができません。クラウドは、そのようなニーズに対して、小さく始めてビジネスの効果を検証して膨らませることができる、というのも1つの特徴です。

#### — ビジネスに活かすシステムを導入しやすくする手段がクラウドになるのでしょうか。

ITリテラシが高く、大きな投資ができる企業以外の多くの企業にとっては、システムを簡単に導入するためには、我々のようなサービスを使ったほうが便利になります。セキュリティも確保でき、問題が発生した場合も責任を明確にした形で迅速に対応することができるからです。

また、単一拠点でアプリケーションを開発してからグローバル拠点に展開されている場合は、世界中に配備したアプ



CTC

Challenging Tomorrow's Changes

リケーションをメンテナンスする費用と手間もかかります。これらは、クラウドを利用することによって、各国の運営や商習慣を尊重しながら、共通の環境を利用することができます。さらに、企業間でコラボレーションする場合、独自構築したシステム同士を連携させるには非常に大きな投資と手間がかかりますが、クラウドは効率的に連携できます。

### やりたいことを実現できる最適な環境を提供し続ける

#### — CTCのクラウドサービスの特長を教えてください。

パブリッククラウド、プライベートクラウド、既存の独自環境といった中で、お客様がやりたいことに最も適している環境を選び、組み合わせ提供できることが、我々の強みです。国内には、クラウド構築から運用や保守まで一貫して行っているクラウドサービスベンダーは意外にも少なく、多くの場合は外部に委託しています。我々は、クラウドサービスに加えて自営のデータセンターを持っており、ファシリティ管理、ハードウェア保守、OSやミドルウェアの管理、アプリケーション運用、ヘルプデスクまで、自社グループですべて行える体制となっています。技術的な網羅性に加えて、幅広いサービス提供を行えることが最大の特徴ですね。ここまで対応できる

ITサービス提供会社はきわめて少ない存在だと自負しています。

#### — 今後、クラウドはどのように進化し、何が行えるようになるのでしょうか。

ビジネス環境がITの進化によって大幅にスピードアップし、情報量が莫大に増えてくる中では、ITリソースをより効率的に使うことが強く求められ、クラウドがあたり前に使われるようになってきます。CTCは、さまざまなクラウドの中からお客様のビジネスに適したクラウドを選び出して、お客様がアプリケーションを自由自在に使えるクラウド環境を提供していきます。

#### — 最後に、クラウドの導入を検討している方々へのメッセージをお願いします。

流行り言葉でクラウドを入れなければと考えると、クラウドにしたいとご相談いただく場合が多く、初期コストが安くなるなど、セキュリティに問題はないのかなど、クラウドに対する期待と不安が入り混じったお客様も多いと思います。ぜひともこの機会に、ビジネス環境を見直し、そこにクラウドがどのような価値を生み出すのかを考えていただき、発想やアイデアでもかまわないので、お客様の新しい挑戦について我々にご相談いただきたいと思います。クラウドに対するお客様の期待をご説明いただければ、お客様のビジネス加速のために最も高い価値を出せるクラウド環境を提供できると考えています。